

令和6年度 生徒指導専門委員会研修会

実施期日：令和6年11月5日（火）

会 場：埼玉会館 小ホール

主 催：埼玉県高等学校PTA連合会

後 援：埼玉県教育委員会

後 援：（一財）埼玉県高等学校安全振興会

目 次

次第 2 ページ

発表校資料

(1) 埼玉県立春日部工業高等学校 P T A 3 ページ

(2) 埼玉県立新座高等学校 P T A 7 ページ

(3) 埼玉県立浦和商業高等学校 P T A 11 ページ

(4) 埼玉県立小鹿野高等学校 P T A 15 ページ

連絡事項 事務局より 19 ページ

令和6年度埼玉県高等学校PTA連合会 生徒指導専門委員会研修会 次 第

日時 令和6年11月5日(火)
場所 埼玉会館 小ホール

- 受付 9:30~10:00
- 【司会・進行】 埼玉県立八潮南高等学校PTA理事 佐藤 ひろみ
- 1 開会のことば(10:00)
埼玉県立八潮南高等学校PTA理事 井上 琴映
- 2 開会行事(10:00~10:10)
(1) 委員長あいさつ 埼玉県立八潮南高等学校PTA会長 臼井 繁樹
(2) 講評者 紹介 (司会)
(3) 発表者・校長の紹介 (司会)
- 3 研究協議(10:10~11:30)
(1) 実践発表 (各校20分)
- | | | |
|------|--|-------|
| 東部支部 | 埼玉県立春日部工業高等学校PTA会長
【生徒を支援するPTA活動】 | 黒岩 義彦 |
| 西部支部 | 埼玉県立新座高等学校PTA会長
【笑顔で過ごせる環境作りと生徒指導】 | 飯野 愛 |
| 南部支部 | 埼玉県立浦和商業高等学校PTA会長
【安心安全で豊かな心を育む教育環境の整備について】 | 萩原 牧恵 |
| 北部支部 | 埼玉県立小鹿野高等学校PTA会長
【生徒減少と組織改編を経てPTAができること
～地域との連携を目指して～】 | 齋藤 祐美 |
- (2) 質疑応答
- (3) 講評(11:40) 市町村支援部生徒指導課 指導主事 山田 裕美 様
- 4 情報提供
埼玉県高等学校PTA連合会より 事務局 川田 清隆
- 5 閉会のことば(12:00)
埼玉県立八潮南高等学校PTA理事 斉藤 春美

第3分科会 生徒指導とPTA

所属校 埼玉県立春日部工業高等学校
(東部支部)
役職 PTA・後援会長
氏名 黒岩 義彦
テーマ 「生徒を支援するPTA活動」

1 本校の概要

本校は昭和39年4月に開校し、今年開校満60周年を迎えた工業高校です。開校当初は機械科、建築科の2学科でスタートし、その後昭和58年には電気科が新設され、平成3年には男女共学となるなど、時代や地域の要請に応えながら教育活動を充実させてきました。東武スカイツリーライン北春日部駅から徒歩3分という立地条件にも恵まれて、生徒数は各学年6クラスずつ、現在618名の生徒が校訓「誠実・責任・創造」と「技を磨き心を育む」のキャッチフレーズのもとに日々学んでいます。資格取得にも大変熱心であり、電気工事士資格をはじめ、数多くの国家資格合格者を輩出しています。また、部活動も盛んで近年、柔道部やスキー部が関東大会出場を果たすなど、生徒たちはそれぞれの目標に向かって生き生きと活動しています。



写真1 春日部市議会訪問の様子

令和4年度からは、「目指す学校像」の中に新たに「SDGs」の観点を盛り込み、これからの産業界を世界規模でリードしていくスペシャリストを養成すべく新たな取組をしています。一つの例として、昨年度より新たに3年間、県教育局高校教育指導課「県立高校学際的な学び推進事業」の指定校となり、次代の工業教育のあるべき姿を模索しながら企業連携や地域連携、教科横断的な学びを積極的に進めているところです。



写真2 2階昇降口の様子

2 本校の学科の特色

①機械科 (各学年80名)

ものづくりの基本となる機械技術と知識を学びます。様々な材料の性質や設計方法、コンピュータを用いた図面作成(CAD)、自動車の仕組み等を学ぶほか、工作機械(旋盤、フライス盤、数値制御工作機械)を使用し、実際にものづくりをとおして技術を磨き、知識を身に付けます。



写真3 機械科(イオンモール春日部にて)

②建築科 (各学年80名)

身の回りの身近な建築物の企画から設計・施工・管理について幅広く学びます。木材加工、鉄骨、鉄筋の組立作業、製図・CAD、測量、材料実験、造形演習など実践的な授業をとおして理想的な建築や環境を創造します。また、資格・検定等の取得、地域連携事業にも積極的に取り組みます。



写真4 建築科(日吉教育長に説明)

③電気科（各学年80名）

社会で役立つ実践的な能力を身に付けるため、電気の基礎理論、発電・送電、配電の応用分野とコンピュータに関することまで幅広く学習します。また、電気工事士など国家資格取得のための補習を行い、筆記・技能試験に向けたサポートを行っています。

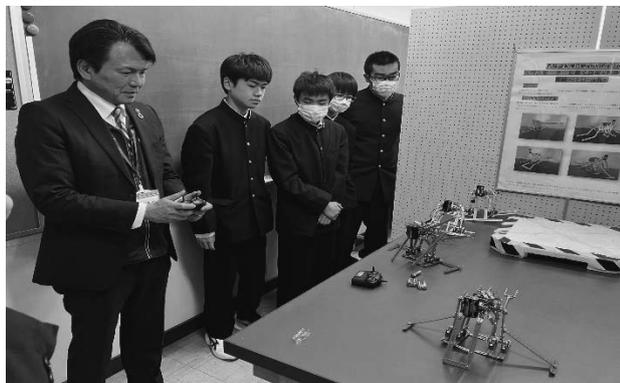


写真5 電気科（春日部市長に説明）

3 本校のPTA組織について

本校のPTA組織は、開校と同時期の昭和39年5月に結成され、以後60年にわたり活動を続けてきました。新型コロナ禍を受けて、令和2年度から3年ほどはPTA活動にも自粛・制限がありました。昨年5月からはようやく以前の活動に戻りつつあります。PTA活動に過度の負担がかからないように、連絡・調整を密にしながら事業を行っています。下記の組織を設置し、先生方とともに子どもたちの健全な育成を図っています。また、後援会組織は顧問と賛助会員から構成され、研修旅行や文化際にも参加しています。

〈本部〉19名

PTA会長、副会長、監事、学年委員長、広報事業委員長、研修事業委員長、文化事業委員長

〈学年委員会〉27名（各委員会に重複）
各学年に関する事業、卒業記念品等に関すること

〈広報事業委員会〉24名
年3回のPTAだよりの編集・発行

〈研修事業委員会〉24名
PTA研修旅行の企画・立案、研修旅行時のビデオ撮影等

〈文化事業委員会〉24名
文化祭時におけるワークショップ運営、物品販売等



写真6 体育祭時のクラス旗投票の様子
4 (技を磨き)春エマスコットキャラクター作成プロジェクトについて

昨年令和5年度に、本校は開校60周年記念事業として「60周年記念春工祭」(文化祭)を実施し、「60周年記念誌」を発行しました。PTAからも周年事業に対する特別援助を行いました。ほかにも記念にすることができないかと、PTA、生徒会で協議を行い、プロジェクト委員会を設置して、令和6年度中にマスコットキャラクターを作成することを決定しました。生徒の皆さんにもこの貴重な体験を今後にも生かしてもらいたいとの思いもあり、実社会の模擬体験として企画立案、設計、製作、PRまでを行うこととしました。PTAも一社会人として、参加することにしました。

①令和6年度1学期

5月・・・昨年度からのPTAからのマスコットキャラクター作成依頼を受けて、生徒会の定例会で担当者決め、随時活動開始。

6月・・・生徒会担当者マスコットキャラクター募集を開始。

生徒会担当者昼休みにキャラクター応募についてプロジェクトの概要を1週間校内放送で情宣する。

7月・・・生徒会担当者HR委員会を招集し、クラス単位での応募を仰ぐ。終業式に生徒会担当からプロジェクトの再告知。

7月18日 第1回プロジェクト委員会
1 進捗状況の説明（応募作品の公開）

2 今後の予定

3 投票について

4 質疑応答・その他

※生徒会担当者とPTA担当者（6名）が一同に会し、進捗状況や今後の予定を確認する。PTA会長の作成した原案についても協議し、方向性が固まる。応募作品の投

第3分科会 生徒指導とPTA

票の仕方、よりキャラクターをリアルに見せるための3D化等について協議した。



写真7 プロジェクト委員会の様子①

- 7月30日 第2回プロジェクト委員会
 19月・10月の予定
 2 投票のQR化について
 3 3D化について
 4 募集案の合体について
 5 その他

※生徒会担当者とPTA担当者（6名）が集まり、今後の予定に加えて1回目のプロジェクト委員会で出た課題について協議する。投票のQR化、マスコットの3D化は断念。その他応募作品を集める方策、宣伝について活発な議論を展開する。



写真⑧ プロジェクト委員会の様子②

②令和6年度2学期

9月・・・始業式に校長からマスコットキャラクター募集の再告知

- 9月4日 第3回プロジェクト委員会
 1 9月の詳細予定
 2 予備選出について
 3 景品について

※第2学期の詳細日程とプロジェクトのポ

スター原案を検討。9月10日のポスター掲示に合わせるよう修正する。ポスター印刷は保護者が行う。9月中に応募を締め切り、10月11日に予備選出を行うこと、その日に第4回プロジェクト委員会を行うこと、景品について議論を行った。

※この発表資料を書いている時点で応募総数は36点となりました。今後、第4回プロジェクト委員会を経て11月の文化祭時に広く投票してもらいマスコットキャラクターが決定します。生徒会担当者や多くの先生方ともプロジェクトを通じてアイデアの交換、企画の進め方、マスコットキャラクターの今後の使用方法について話し合うことが出来たことは我々PTAにとっても大変意義深いものになりました。生徒の皆さんは真摯にPTA担当者の意見やアドバイスを聞いてくれました。このイベントを通じて春日部工業の魅力を広く知ってもらうとともに新たな「顔」になるキャラクターを応援していきたいと思えます。

5 (心を育む) コミュニケーションに関するアンケート調査実施について

今回「生徒指導とPTA」の発表を行うにあたり、コミュニケーションに関するアンケートを実施したらどうかという声が挙がりました。生徒と保護者に同じ内容の質問をして相互の理解がどのようなものか、またその結果から問題点を探り出すことで、今後の生活や将来に生かすといった趣旨からです。アンケートは令和6年9月にGoogleフォームを使用して行いました。

生徒回答数 : 442件

保護者回答数 : 330件

アンケート結果を生徒と保護者、それぞれにおいて選択された割合の高い順に並べ替えを行い整理してみました。

Q1. (お子さんは) 毎日誰かにあいさつをしていますか？

生徒		保護者	
している	86.4%	している	85.5%
しない時もある	12.6%	しない時もある	12.4%
していない	1.0%	していない	2.1%

Q2. (お子さんは) 1日何回くらいあいさつをしていますか？

生徒	保護者
----	-----

第3分科会 生徒指導とPTA

2～5回	51.3%	2～5回	57.3%
数えきれない	29.2%	数えきれない	23.0%
10回くらい	18.3%	10回くらい	17.6%
0回	1.2%	0回	2.1%

生徒の多数が挨拶をしており、保護者の認識の差もない。挨拶をしていない生徒への対応が必要であることが伺える。

Q3. (お子さんは) あいさつは誰にしていますか? [複数回答可]

生徒	保護者
先生(89.3%)	家族(93.3%)
友達(83.8%)	友達(80.0%)
家族(78.6%)	先生(71.2%)
先輩(35.4%)	地域の方(43.0%)
地域の方(28.0%)	先輩(34.2%)
その他(6.2%)	その他(6.7%)

生徒と保護者において、挨拶をしている相手について認識の差は見られるが、普段から挨拶をしている様子が伺える。

Q4. (お子さんは) あいさつをどのようにしていますか?

生徒	保護者		
自分から	81.0%	自分から	73.9%
相手から	11.8%	相手から	19.5%
目を見てしっかりと	5.5%	もじもじと	3.6%
もじもじと	1.7%	目を見てしっかりと	3.0%

保護者の認識よりも、多くの生徒が自ら挨拶をしている様子が伺える。少数ではあるが、挨拶に対して消極的な生徒へのアプローチが必要である。

Q5. (お子さんは) 毎日誰かとコミュニケーションをとっていますか?

生徒	保護者		
とっている	91.9%	とっている	93.3%
とらない時もある	7.6%	とらない時もある	6.4%
とっていない	0.5%	とっていない	0.3%

Q6. (お子さんは) 毎日誰とコミュニケーションをとりますか? [複数回答可]

生徒	保護者
友達(94.1%)	家族(97.9%)
家族(92.9%)	友達(89.4%)
先生(57.5%)	先生(53.9%)
先輩(32.1%)	先輩(27.0%)
地域の方(13.3%)	地域の方(13.9%)
その他(5.5%)	その他(4.8%)

保護者が認識している以上に、コミュ

ニケーションを図れていない生徒のいることが伺える。

Q7. (お子さんは) 毎日どれくらいコミュニケーションをとっていますか?

生徒		保護者	
話せるときはいつでも	55.8%	話せるときはいつでも	57.0%
2, 3時間	18.8%	必要な時だけ	15.2%
必要な時だけ	12.8%	1時間以内	14.2%
1時間以内	12.6%	2, 3時間	13.6%

Q8. (お子さんの) コミュニケーションのとり方は?

生徒	保護者
友達や先輩と(43.7%)	家族と(63.3%)
家族と(35.6%)	友達や先輩と(27.6%)
SNSなどで(10.5%)	SNSなどで(3.3%)
その他(5.2%)	その他(3.3%)
電話で(2.9%)	先生と(1.2%)
地域の方と(1.4%)	電話で(1.2%)
先生と(0.7%)	地域の方と(0.0%)

コミュニケーションの手段や時間について、更に確認する必要がある。



写真⑨ プロジェクト委員会の様子③

6 おわりに

PTA 活動の制限された期間を終え、心機一転 PTA 活動を…と思いましたが、昨今の PTA の話題は、ネガティブなものです。しかし、わが子を思う親の心は変わらないと思います。できる人が、できるだけ、の PTA でいいと思います。各学校の方々もいろいろな工夫をし、PTA 活動を継続しておられるかと思うと頭が下がります。わが校としては、PTA 楽しそうだねと皆さんに感じてもらえるよう楽しく元気に活動しています。今後も子供たちの健全な育成に尽力したいと思います。

笑顔で過ごせる環境作りと生徒指導

埼玉県立新座高等学校 PTA 会長 飯野 愛

本校の概要

本校は 1973 年（昭和 48 年）に開校し、今年で 52 年目を迎えます。

埼玉県南部新座市の豊かな水が流れる黒目川と湧き水豊かな雑木林に囲まれた自然豊かな環境にあります。

目指す学校像

目指す学校像を

「一人一人の自立を重んじ、主体的に社会に貢献できる人材を育む学校」とし、

スクールポリシーとして次の「5つの力」の実現を目指しています。

- ① 生涯にわたり学び続ける力⇒「学習する力」
- ② 円滑な人間関係をつくり維持する力⇒「コミュニケーション力」
- ③ 自分と他者を大切にする力⇒「思いあう力」
- ④ 自分で考え判断して良い行動をする力⇒「自己指導能力」
- ⑤ 将来に向けて考えて行動する力⇒「進路行動力」



特徴

少人数授業（国語・数学・英語）、学習サポーターによる支援やスクールカウンセラー・キャリアサポート（通級指導）等外部指導者による専門的な支援、1年次からのガイダンス等のきめ細かな進路指導やソーシャルスキルトレーニングを実践し、生徒を支援・育成しています。また、生徒指導から生徒支援への体制転換を進めています。

行事・部活への取組も行っており運動部、文化部ともに一生懸命取り組んでいる生徒が多くいます。

生徒指導から生徒支援へ

本校の在席生徒数は 523 名です。

駅からはやや遠く

- 東武東上線 朝霞台駅（武蔵野線北朝霞駅）よりバスで 15 分
- 西武池袋線 ひばりが丘駅よりバスで 15 分

の位置にあり

- 自転車で通う生徒が 約 65%
- バスで通う生徒が 約 30%

となっています。

生徒支援（生徒指導）の取り組み

登校時は正門、裏門両方に立ち、挨拶指導をはじめスマホ、イヤホンを使いながらの「ながら自転車運転」に対する声掛け・指導を行っています。

現在、新座高校には「生徒指導部」はなく令和4年に生徒指導部の先生方の提案により発足した「生徒支援部」がこれらの指導を行っています。これまで「生徒指導部」として取り締まり指導が中心だったものが「生徒支援部」となり指導から支援へと舵を切りました。

遅刻指導では遅刻改善ラリーカードを用意し、「支援しながら」遅刻しない生活時間の定着を目指しています。また、遅刻が月に4回以上になると指導が行われますが、段階的指導の内容を生徒に明示した上で指導が行われており、生徒自身が行われる指導に対し見通しを立てられます。

遅刻改善ラリー

段階的指導

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

NO. _____

____ 月 ____ 日遅刻した ____ 年 ____ 組 ____ 番 氏名 _____

1日目		2日目		3日目		4日目		5日目	
/()		/()		/()		/()		/()	
起床	:								
出発	:								
到着	:								
印		印		印		印		印	

備考

--	--	--	--	--

注意事項

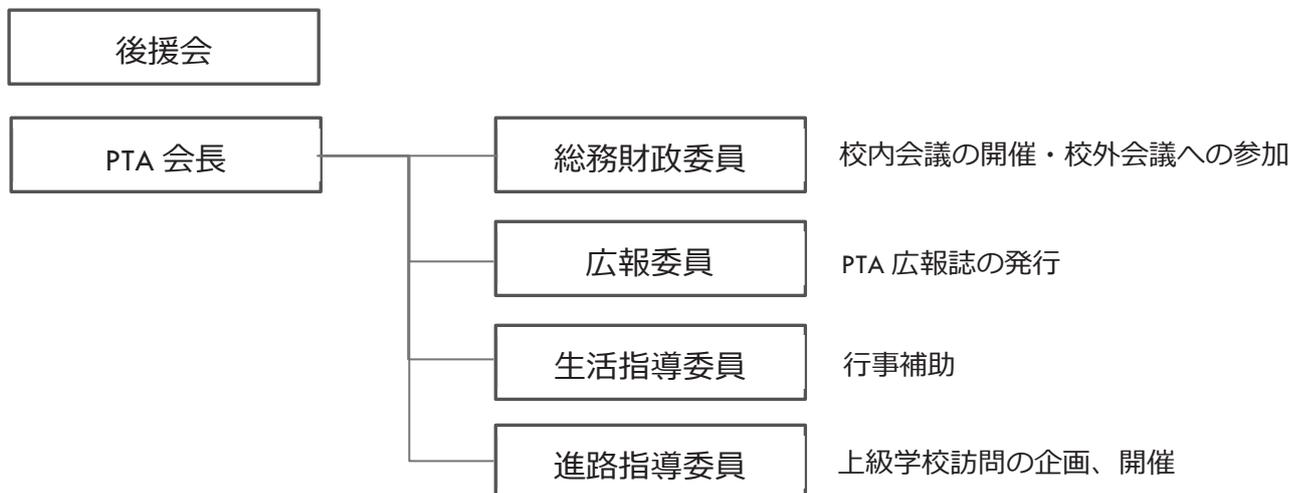
- ① 段階的指導を行った翌日から、土日を除く5日間、毎朝8:20分に必ず間に合うようにこの用紙を持って職員室に来る。
- ② 職員室の入り口で、日時・曜日・家を出た時間・到着時間を記入し、学年の先生に預ける。
- ③ 来られなかった日（欠席・遅刻・出席・遅延）があった場合は、5日間の登校指導を完了するまでは何日も延びていく。
- ④ 5日間の登校指導が終了した後、この用紙は回収する。

段階的な指導

- ① 担任・副担任
- ② 担任・学年支援部
- ③ 学年指導
- ④ 保護者召喚・学年主任・担任
- ⑤ 保護者召喚・生徒支援主任・担任

PTA 活動と現状の課題

PTA の体制



本校 PTA は 4 委員会構成されています。総務財政委員役員については会計等の特別な役職についていない役員は全員「副会長」とし、校外等の役職者が出席者する会議に参加しやすいようにしています。

課題

PTA 役員のなり手不足、役員になっても活動に参加できない方が多いという問題があり、「できる人ができる時にできることを！」をモットーに活動していますが、積極的に参加して下さる方に負担がかかっているのが現状です。学校へのアクセスが良くない為、年に 5 回程度土曜日に開催される会議への参加を負担に感じる方が多く、会議の開催回数の見直し等を現在進めています。

行事へのかかわり

【体育祭】

受付を担当し、来場する保護者の受付をするとともに、学校に関係ない校外の方が校内に立ち入らないように気を配っています。役員に PTA 席を用意し、仕事の合間に生徒の様子を見やすい場所で見られるように準備しています。

【文化祭】

昨年と今年は PTA と後援会でブースを担当させていただき「縁日」を行いました。かかわる大人自身が楽しめる場を用意することで普段活動に参加されない方も「参加してみようか」と思える企画を行いたいと考えて始めたものです。実際に役員の参加率がもっとも高いイベントが文化祭になっています。

(PTA で準備したブースの様子)



PTA と生徒指導

現在、本校の PTA 役員の確保が難しい中で、保護者が関わりやすい PTA 活動として行事のサポートをしたり、保護者自身が行事に積極的にかかわることで、生徒が笑顔で過ごせる環境をサポートしたり、保護者が自然と生徒と交流できる機会の提供を行うこと自体が生徒指導につながると考えて、活動を行っています。

おわりに

本校の PTA 活動は先の「課題」でも触れたような課題や、保護者からの PTA 活動に関する疑問等が寄せられることで活動の在り方の見直しが必要な時期に差し掛かっていると感じています。

本校はいわゆる生徒指導の「困難校」なイメージもありますが、先生方の熱心なご指導・ご支援により近年学校の雰囲気が大きく変わってきたように感じられます。PTA としても学校の後方支援としてより充実した生徒指導・支援を支えるとともに、子供達が安心して過ごせる教育環境のサポートを引き続き行っていけるように活動内容を見直しつつ、無理なく多くの保護者が関わりながら活動していける方法を模索していきたいと考えています。

令和6年度埼玉県高等学校PTA連合会生徒指導専門委員会研修会
「安心安全で豊かな心を育む教育環境の整備」

埼玉県立浦和商业高等学校PTA

はじめに

本校は昭和2年に浦和町立浦和商业学校として開校し、創立以来、様々な分野で活躍する有意な人材を県内外に輩出し続け、今年で創立98年目を迎えました。5月1日現在の在籍数は797人、各学年7クラス全21クラス、各学年とも商業科5クラス、情報処理科2クラスで構成されております。本校の最大の強みは、進学にも就職にも強いということです。歴史と実績を積み上げた進路指導によって信頼を得て、生徒一人一人がそれぞれの進路希望を実現できるよう指導、支援を継続しております。

1 学校概要

ここで本校の教育活動について、①商業高校とは ②4つの学びの分野 ③教育課程について ④各学科の共通事業・選択授業 ⑤浦和商业高等学校の魅力 の5つの視点から御紹介させていただきます。

このたびの機会は、専門学科の教育課程等を御覧いただく貴重な機会でございますので、上記の5つの視点と併せて教育課程等につきましても詳しく御紹介させていただきます。

専門学科においては、普通科目と併せて専門科目を学びます。本校は商業高校ですので、普通科目と商業の専門科目を学ぶことになります。

商業の学びは、4つの学びの分野で構成されています。4つの分野とは、マーケティング分野、会計分野、マネジメント分野、ビジネス情報分野です。マーケティング分野とは、製品がサービスが売れる仕組みを作ることです。消費者のニーズをアンケート等の方法で把握し、商品の価値を確立し、他者との差別化を図る等、ニーズに合った商品・サービスを提供します。会計分野は、経営活動の記録・報告・管理のための会計を学ぶ分野です。マネジメント分野は、経営資源（人材・設備資金など）を最適に組み合わせ、適切なマネジメントを行うための学習です。経済のグローバル化、ビジネスの創造、ビジネスにかかわる法規などです。ビジネス情報分野は、ソフトウェアの操作や活用方法などコンピュータや情報通信ネットワークに関する内容を学びます。ビジネス情報分野は2進数やコンピュータに命令する言語を学ぶ分野です。

次の図が本校情報処理科の教育課程です。教育課程という言葉が難しいので、1日6時間の授業が5日間、1週間分の時間割を横に並べたものと考えてください。白い部分については、中学校でも学んできた普通科目です。カラーの部分については、商業に関する科目です。本校は専門学科なので、普通科目が3分の2、商業科目が3分の1となっております。続いて商業科の教育課程です。商業科の教育課程も、普通科目が3分の2、商業科目が3分の1となっております。

＜情報処理科の教育課程＞

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1年	現代の国語	言語文化	地理総合	公共	数学Ⅰ	化学基礎	体育	保健	英語コミュニケーションⅠ	ビジネス基礎	簿記	情報処理	プログラミング	LHR																	
	(2)	(2)	(2)	(2)	(3)	(2)	(2)	(1)	(4)	(2)	(3)	(2)	(3)	(1)																	
2年	文学国語	歴史総合	数学A	生物基礎	体育	保健	芸術選択	英語コミュニケーションⅡ	家庭総合	簿記	プログラミング	ソフトウェア活用	商業選択	LHR																	
	(3)	(2)	(2)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(2)	(2)	(2)	(3)	(3)	(1)																	
3年	論理国語	地歴探求選択	数学Ⅱ	地学基礎	体育	英語コミュニケーションⅢ	家庭総合	課題研究	総合実践	ネットワーク活用	A選択	B選択	LHR																		
	(3)	(3)	(3)	(2)	(3)	(3)	(2)	(3)	(2)	(2)	(2)	(2)	(1)																		

＜商業科の教育課程＞

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1年	現代の国語	言語文化	地理総合	公共	数学Ⅰ	化学基礎	体育	保健	英語コミュニケーションⅠ	ビジネス基礎	簿記	情報処理	LHR																		
	(2)	(2)	(2)	(2)	(3)	(2)	(2)	(1)	(4)	(2)	(5)	(3)	(1)																		
2年	文学国語	歴史総合	数学A	生物基礎	体育	保健	芸術選択	英語コミュニケーションⅡ	家庭総合	マーケティング	財務会計Ⅰ	情報処理	商業選択	LHR																	
	(3)	(2)	(2)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(2)	(2)	(3)	(2)	(3)	(1)																	
3年	論理国語	地歴歴史選択	数学Ⅱ	地学基礎	体育	英語コミュニケーションⅢ	家庭総合	課題研究	総合実践	ビジネス法規	A選択	B選択	LHR																		
	(3)	(3)	(3)	(2)	(3)	(3)	(2)	(3)	(2)	(2)	(2)	(2)	(1)																		

それでは、情報処理科と商業科について比べてみたいと思います。情報処理科は、商業科目の中でも、ビジネス情報分野の学習が多く組み込まれております。特に、1・2年生で、プログラミングを学習するところが大きな特徴です。続いて商業科の特徴です。商業科目の中でも、会計分野の学習が多く組み込まれております。また、情報処理や、マーケティング、ビジネス法規など、商業の4分野についてバランスよく学ぶことができます。例えば、情報処理科では、情報に関することをたくさん学びたいと思ったら、ネットワーク管理という科目を選択することでより高度な学習をすることができます。また、会計分野に興味を持った人は、会計分野の科目を選択することで商業科に近い内容の学習をすることもできます。商業科も同じように、会計分野を重点的に学ぶことで、日商簿記検定など高度な検定にチャレンジすることができます。また、ビジネス情報系に興味を持った場合には、商業科でありながら、3年生でプログラミングを選択することもできます。

～情報スペシャリスト系～

＜情報処理科＞

～情報・会計系～

2年生		3年生
全員が学ぶ	商業選択	A選択
簿記 (2)	原簿計算 (3)	財務会計Ⅰ (2)
ソフトウェア活用 (3)		B選択
プログラミング (2)		財務会計Ⅰ (2)

2年生		3年生
全員が学ぶ	商業選択	A選択
簿記 (2)	ビジネス・マネジメント (3)	ネットワーク管理 (2)
ソフトウェア活用 (3)		B選択
プログラミング (2)		ネットワーク管理 (2)

～会計・ビジネス系～

＜商業科＞

～情報系～

2年生		3年生
全員が学ぶ	商業選択	A選択
マーケティング (2)	原簿計算 (3)	財務会計Ⅱ (2)
財務会計Ⅰ (3)		
情報処理 (2)		

2年生		3年生
全員が学ぶ	商業選択	A選択
マーケティング (2)	ビジネス・マネジメント (3)	プログラミング (2)
財務会計Ⅰ (3)		B選択
情報処理 (2)		ソフトウェア活用 (2)

商業科目は高校ではじめて学ぶ教科です。いままで勉強が苦手だな・・・という場合でも、商業科目は全員スタートが同じです。授業や資格取得を通じて、計画的に目標に向かって努力し、結果を出していくことで、授業や資格取得を通じて、計画的に目標に向かって努力し、結果につながることで達成感を重ねていくことができます。

さらに浦和商业高等学校の魅力の一つは充実した最新設備です。コンピュータ教室を5教室完備しており、全体で約250台のコンピュータを整備しております。

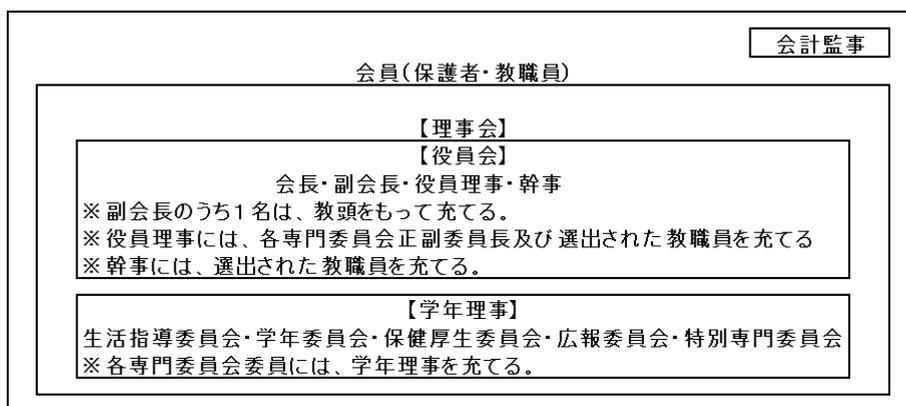


2 本校のPTA活動

ここからは本校のPTAの活動について御紹介させていただきます。

まず本校PTAの組織です。理事会は役員会と学年理事で構成されております。役員会は、会長・副会長・役員理事・幹事で構成されております。また学年理事は、生活指導委員会・学年委員会・保健厚生委員会・広報委員会・特別専門委員会で構成されております。

PTA組織図



本校では、選出する理事の数を固定化せず、アンケート等でPTA活動への協力についての確認を行い、積極的な参加を尊重しております。

当初は学年理事の人数が例年より少ないということもあったようですが、少ない人数だったとしても、その時の人数でできる最大限の活動を行っております。今年度も広報誌の臨時号の発行、また9月に行われた浦商祭もPTA企画には在校生を中心に多くの来場者が訪れ大盛況となる等、積極的なPTA活動が行われております。また今後も、保護者向け進路説明会等、事業計画どおりに実施される予定です。

令和6年度 P T A事業計画 (抜粋)

令和6年	4月	8日(月)	入学式
		20日(土)	会計監査・新1学年理事選出
	5月	11日(土)	第1回役員会・理事会
		25日(土)	令和6年度P T A後援会総会
	6月	中旬	P T Aだより (臨時号発行)
	7月	27日(土)	第2回役員会・理事会
	9月	7日(土)	浦商祭
	10月	24日(木)	体育祭
11月	13日(水)	彩湖強歩大会	
令和7年	1月	25日(土)	第3回役員会・理事会
		下旬	進路保護者会
	3月	8日(土)	卒業証書授与式
		中旬	P T Aだより (第73号発行)

続いて、生徒指導の取組みです。安心安全で豊かな心を育む教育環境の整備について、今年度の活動から3つ御紹介させていただきます。1点目の連絡網の再構築については、昨今の気象状況の変化や、より迅速な情報の伝達の必要性からP T Aからも学校に運用の要望をしておりましたところ、今年度6月より保護者連絡ツールの運用を開始いたしました。すでに台風対応等、気象状況の変化やより迅速な情報の伝達のツールとして貴重な連絡網となっております。2点目の正門から事務室玄関までのアプローチへの植栽は、P T A総会後に保健厚生委員会が実施いたしました。植栽されたお花によって、正門からのアプローチがきれいに彩られるとともに、毎日通る方の心を和ませ、優しい気持ちにさせていると聞いております。3点目の生徒への積極的な声かけは、体育祭および強歩大会のドリンク配布の際に行います。



おわりに

今後のP T A活動についても、引き続き積極的な参加を呼びかけ、私たちにできる範囲で、学校の教育活動を精一杯支援していきたいと思っております。

令和6年度 埼玉高P連専門委員会研修会

「生徒指導」発表資料

生徒減少と組織改編を経てPTAができること～地域との連携を目指して～

埼玉県立小鹿野高等学校 PTA 会長 佐藤 祐美

1 学校概要

小鹿野高校は創立77年を迎える西秩父地域唯一の高等学校です。目指す学校像として「総合学科高校の特色を生かし、生徒の『学力・人間力・思いやり・創造性』をはぐくみ、地域に愛され、期待に応える学校」を掲げており、学校としても地域とのつながりを重視しています。本校は山に囲まれた自然豊かな地域にあり、



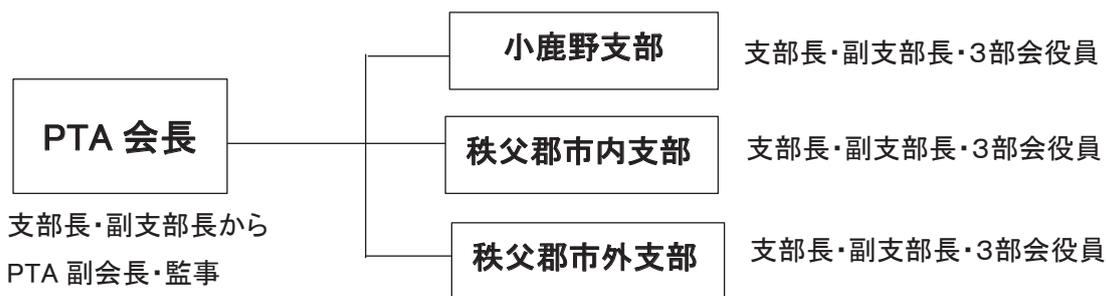
交通の便の悪さや少子化などの問題を抱えています。募集定員を満たさない状態が続き、現在の在籍生徒は1学年43名、2学年40名、3学年29名です。小規模校の特色を活かし学習・生活・行事・進路の様々な面で一人一人に合った手厚い指導が行われています。



また、小鹿野町の協力のもと、親元を離れて小鹿野町内の宿泊施設から通う「山村留学」の制度もあります。総合学科として福祉生活系列、地域観光系列、文理総合系列、文化教養系列の4系列を設置しており、進路は就職と進学が半分ずつの割合です。どちらも地元に残り自宅から通える場所を希望する生徒が多いようです。

2 PTA 組織

小鹿野高校PTAには小鹿野支部・秩父郡市内支部・秩父郡市外支部の3つの支部があり、それぞれの支部から支部長・副支部長・3部会役員が選出されています。さらに、支部長・副支部長の方の中からPTA副会長と幹事が選出されます。3部会は研修部、広報部、校外指導部で、それぞれ活動をしています。



(1) 主なPTA活動

PTA全体の活動としては、5月にPTA・後援会総会、年3回、6月、9月、2月に理事会、7月に支部合同懇談会、10月に文化祭での協力などを行っております。



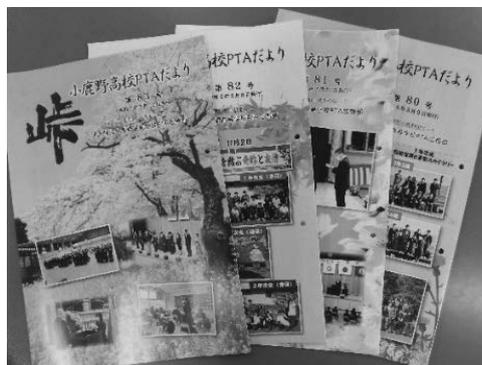
【PTA 理事会の様子】

研修部では毎年秋に研修会を開催しています。昨年は竹あかり部の生徒さんに教えてもらって、「竹あかり」を体験し制作しました。



【昨年の研修会「竹あかり体験」の様子】

広報部では年2回、PTA 広報誌「峠」を発行しています。



【広報部会の様子と広報誌】

校外指導部では朝の登校指導や夏の七夕フェスティバルの巡回などを行っております。



【登校指導と七夕フェスティバル巡回】

(2) PTA 組織改編について

このように現在は3つの支部で活動しておりますが、これは、生徒減少に伴い、令和4年度に支部の再編成を行い、3つの支部になったからです。小鹿野高校の生徒数は、この20年ほどで3分の1に減少しました。そして支部も以下のように変化してまいりました。

【生徒数とPTA支部の変遷】

年度	生徒数	支部数	備考
平成18年	346名	6支部	①下小鹿野・長若支部 ②吉田・大田支部 ③三田川・倉尾支部 ④小鹿野支部 ⑤秩父・尾田蒔支部 ⑥両神・荒川・大滝支部
平成21年	272名	5支部	三田川・倉尾支部が小鹿野支部と統合
平成26年	220名	6支部	秩父郡市外支部を設置
令和5年	109名	3支部	小鹿野支部・秩父郡市内支部・秩父郡市外支部に整理統合

支部の減少はPTA役員数の減少を意味します。少ない数の役員で行う活動ということで、不都合な部分もありますが、そのたびに工夫して行ってきました。例えば、校外指導部の登校指導は、警察の方と合同で登校指導を行ったりもしております。また、以前は文化祭でPTAの企画もあったのですが、現在は駐車場係を担当しています。それから、研修部も以前はバスで研修旅行へ行っていたのですが、参加者が少なくなったことから、現在は校内での研修会を行うようになっております。

3 生徒指導とPTA

(1) PTAによる立哨指導及び巡回指導

この2つは、従来から行ってきたものです。立哨指導としては、校外指導部が中心となり、朝の登校指導を実施しています。生徒たちが良く挨拶できるようになってきました。また、この取り組みは、小鹿野警察署との合同で行われることもあり、交通安全の啓発も兼ねています。これらの活動は、重大な交通事故の発生を防ぐことにつながっています。



【警察合同登校指導の様子】

巡回指導については、文化祭においてPTA役員は生徒減のために駐車場の誘導を行いますが、校内見学の際には安全の確保のために巡回もします。また、町内で夜間行われる七夕フェスティバルなどでは非行防止のために巡回しています。

(2) PTAと地域の方による「面接指導」

今年度、PTAの新たな取り組みとして、3年次生の面接指導を行いました。経緯は学校からの依頼でした。昨年度5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたこともあり、生徒が「知らない大人の方」が模擬面接を行うことで、進路決定に向けた良い練習になるので、生徒指導、進路指導の観点からPTA面接指導をお願いしたというものでした。

これについて、理事会や総会で語り、6月に面接指導を実施しました。前述のとおり、PTA役員も少なく面接指導の人数が足りなかったため、小鹿野町役場に相談して、地域の方にもご協力いただきました。

【PTAと地域の方による面接指導の様子】



面接官として参加していただいた方の感想

「小鹿野高校の生徒さんの実直さが伝わりました。全般的な印象は悪くないので、あとは細部の調整をされるとよいと思います」

「皆よくできています。少人数ゆえ、先生方に個別に細かく指導していただいているおかげではないでしょうか。逆に私が良い経験をさせていただきました」

生徒さんも「緊張したけれどとても勉強になった」と言っていたそうです。PTAとしても何よりも生徒達のためになり、また生徒たちの成長の様子を垣間見ることができ、地域との連携を深めることができたので、とてもよい取り組みになったかと思っております。

4 おわりに

小鹿野高校では生徒の減少に伴い、PTA活動も変化を余儀なくされてきました。ですが、現在、活動を縮小しつつも、地域の方との協力・連携という方法も模索し、工夫しながら活動を続けております。生徒指導という側面から考えると、生徒を見守り育てるためにはPTAという立場だからこそできる役割があると思います。子供たちが安心して育っていくためにも、これからのPTA活動では、地域との連携という方法は有効なのではないかと思っております。

これからもPTA役員・保護者・地域の方が協力しながら、地域全体で子供たちを見守って育てていく体制を作っていきたいと考えております。

埼玉県高等学校PTA連合会 事務局より

1 ハイスクール24還元事業について

令和5年度から、生徒の安全確保を推進するため、埼玉県高等学校PTA連合会が団体加入する「ハイスクール24」による収益の一部を加盟校に還元する「AED設置推進校事業」を始めました。本年度も多数のご応募いただき、誠にありがとうございました。

ハイスクール24の加入状況等により推進校10校選考し、決定した学校に11月15日までに連絡します。

2 「合格者書類」と「PTA関係書類」の差別化について

(1) 「安全振興会」「全国高P連 賠償補償(学校一括加入)」「全国高P連 ハイスクール24(会員任意加入)」の3つの補償制度は、いずれもPTA加入者が補償対象となっている制度です。そのため、合格者書類に同封すると、「入学者全員が対象となる補償」との誤解が生じる恐れがあります。

(2) 対策として、「合格者書類」と「PTA関係書類」の差別化についてご検討ください。「合格書類封筒」とは別に「PTA関係書類封筒」を作成し、PTA関係としてお伝えするべき以下の4点を同封します。

- 「PTA会長あいさつ(例)」(第2回理事会報告で配付済)(鑑文)
- 「安全振興会の案内」
- 「全国高P連 賠償補償の案内」
- 「全国高P連 ハイスクール24の案内」

3 PTAに加入しない保護者さまへの対応について

「安全振興会の補償制度」「全国高P連の賠償補償制度」「全国高P連のハイスクール24」はPTA会員を対象とする制度のため、PTA未加入の方は、これらの制度には加入ができないこと、補償対象外であることを明確に伝えてください。